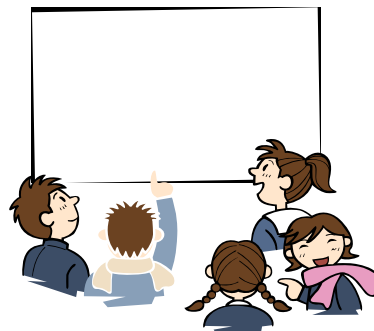


進学 合格体験記

1. 新潟大学 農学部 農学科生物資源科学プログラム
2. 秋田県立大学 生物資源科学部
アグリビジネス学科
3. 福井県立大学 生物資源学部 創造農学科
4. 東京農業大学 地域環境科学部 地域創生科学科
5. 群馬県立農林大学校 農林業ビジネス学科
農と食のビジネスコース
6. 前橋東看護学校 看護学科



1. 新潟大学 農学部 農学科 生物資源科学プログラム

高校入学当時、私は獣医師になりたいと思っており、私立大学に進学しようと考えていました。しかし、諸事情により私立への進学が困難となり、大学進学を諦めかけていました。そんな時、顧問の先生に「国立大学に進学するのはどうだろう」と声を掛けて頂き、再び大学への進学を目指すきっかけとなりました。そして、様々な大学を調べていく中で、新潟大学への進学を決めました。理由は、高校での学習を通して家畜改良に関する研究に興味を持ち、その分野である遺伝学が学べるからです。

試験対策は、3年の夏休みから農業に関する知識をより多く蓄え、その後小論文と面接の練習を行いました。試験対策をしていく中で、これまで自分が習ってきたことや所属していた養豚部、生徒クラブでの活動がとても大きな支えとなってくれました。

試験当日は緊張しましたが、それまで行ってきた試験対策が力となり、最後まで精一杯取り組むことができました。

約半年の間、私の力を伸ばしてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。大学では、高校で学んできたこと、体験してきたことを活かしてより深い学びができたと思います。

2. 秋田県立大学 生物資源科学部 アグリビジネス学科

私が秋田県立大学を受験することに決めたのは、秋田県立大学の入試一ヶ月前のことでした。

大学進学を決めたのは三年の一学期のことで、そのときは工学部の生命科学系統が

学べる大学に進みたいと考えていました。この時に、志望校が確定していたわけではなく、小論文練習と並行して、大学について調べながら夏休みを過ごしました。

十月頃に第二志望かつ、本命の練習としてある大学の農学部総合型選抜を受験しました。結果は一次で落ち、残念な結果で終わりました。この結果も踏まえ、先生に「今まで農業を学んできたのだからそれを伸ばしたほうがお前にとって良い経験になる」と助言を頂き、元々進みたいと思っていた大学と悩みに悩んで秋田県立大学を選択しました。

秋田県立大学に受験すると決まってからは、今まで練習してきた小論文の仕上げ、志望理由書の作成、面接練習を隙間時間や放課後等を利用し行いました。多くの先生に指導を頂いたので志望理由書、面接ともに高いレベルのものへと昇華することができました。入試当日のギリギリまで毎日先生方に面接指導を受けました。この間よく放送で呼び出されたのは今となってはいい思い出です。教頭先生に本番形式で面接練習をしていただいた際、「とても良く答えられている」、「今までで一番いい面接だ」と言ってもらえたのが励みになり自信が付きました。

こうした積み上げがあったので本番で自信を持って小論文、面接ができたので最高のパフォーマンスで行うことができました。志望校が中々定まらない、大学進学なのに数Ⅱを選択していないなど他にもいろんな問題がありましたが、多くの先生方の力を借り無事合格することができました。感謝の念でいっぱいです。この掴み取った機会を最高のものにできるように大学入学までの間自己研鑽を積み、大学入学後も学問の研鑽を止めることなく成長していきさらなる高みに至りたいと思います。

お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

3. 福井県立大学 生物資源学部 創造農学科

私は、将来6次産業にスマート農業を取り入れた農業をしたかったので地域との関係が深く、6次産業とスマート農業について学べる「福井県立大学創造農学科」を選びました。また、この学科は開設されたばかり歴史が浅く私で第2期生です。

大学受験では書類選考・面接（プレゼンテーションを含む）・口頭試問があり口頭試問では何が出題されるのかが公開されていなかったので何を勉強すればよいか分かりませんでした。そこで先生と相談し生物・生物基礎・化学・化学基礎・英語・数学にしぼり勉強にのぞみました。本番では化学と生物の混合問題と英文の読解問題が出題されました。面接では先生方と毎日朝昼放課後に練習を行い、プレゼンテーションでもご指導いただきました。何度もダメ出しをされ心が折れそうになりましたが、進路の先生の「今日逃げたら明日はもっと辛くなるぞ」と励みの言葉をかけられ頑張れました。また、農業科の先生に福井の農作物やスマート農業についてご指導をお

願いました。

様々な先生の協力の下、面接や口頭試問の練習を行い準備を整え、試験に望むことができました。誠にありがとうございました。

4. 東京農業大学 地域環境科学部 地域創生科学科

私は、1年生の頃から大学に進学したいと考えていました。特に農学系の学部に興味があり、よい進学先に行くために授業や部活動、資格試験に積極的に取り組んできました。

進学先を東京農業大学に決定したのは、3年生の夏休み入ってすぐでした。新型コロナの影響があり、オープンキャンパスや学校説明会が中止になってしまい、思うように行かないことが多々ありました。ですが沢山の先生方にアドバイスしていただき、自分が3年間学んできた造園や農業土木、インドネシア研修で学んだ森林について複合的に学べる今の進路先に決定し、総合型選抜で受験することを決めました。

私は、10月下旬まで部活動を続けていたため、夏休みから限られた時間の中で志願理由書や小論文、面接の練習をしてきました。本番当日は緊張し、ミスをしてしまいましたが沢山の練習が活かされ立て直すことが出来ました。合格できるか不安でしたが、指導してくださった先生方や友人・家族の協力のもと無事合格することができました。この感謝の気持ちを忘れず、大学でも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

5. 群馬県立農林大学校 農林業ビジネス学科 農と食のビジネスコース

入学当時、卒業後は農業関連の学校ではなく医療系の学校に進学しようと考えていました。しかし、勢多農林高校での日々の授業や実習やインターシップを体験していく中で農業に関する知識を深めるとともに、農業の楽しみを知ることができました。そのうち卒業後も農業について色々学びたいと思いました。

2年生の頃に農林大学校を知り農林大学校のオープンキャンパスに参加しました。学校についてのお話や施設の説明を聞き最先端の農業技術や知識を学べる農林大学校に興味を持ちました。3年生になり再びオープンキャンパスに参加したときは新型コロナウイルスの影響で授業体験には参加できませんでしたが改めて農林大学校の魅力に惹かれ進学を決意しました。その後は受験に向け小論文の対策、面接練習を頑張りました。なかでも小論文は初めての試みだったため時間をかけて対策を行いました。またたくさんの先生方に協力してもらい無事合格することができました。この気持ちを

忘れずに進学先でも頑張りたいと思います。

6. 前橋東看護学校 看護学科

今の進路を目指そうと思ったのは、中学2年生の時です。部活中に足を怪我し、しばらく通院していた病院の看護師さんが優しく親切で、安心感のある方で、私もそんな看護師さんになりたいと思ったのがきっかけです。

また、勢多農林高校で、生き物を通して実習していく中でも、命の大切さや尊さなど沢山の事を学び感じ、看護という職業でこの経験を活かしたいと思うようになりました。

私は3年生になり指定校が取れなかった事をまず頭に入れ、指定校が取れるまでは、いろんな学校の過去問題を先生からいただき沢山解きました。指定校が無事取れたので、次は面接練習を始めました。昼休みや放課後に先生に事前に面接練習を頼み沢山練習をしました。

そのおかげで、無事に合格する事が出来ました。この合格は、面接の指導をしてくださった先生をはじめ家族や友人などいろんな人の支えがあつての合格です。この感謝の気持ちを忘れずに、進学先でも頑張りたいと思います。